



5月24日、「働き方改革」法案は廃案への緊急宣伝が労働局前などで行われた

最賃引き上げを求め各地で宣伝行動が行われた(写真は枚方)



大阪から争議をなくすために、春の争議支援行動が5月24日に行われた

国会終盤を迎え、安倍内閣がこれまで無いとしてきた、森友疑惑での学校法人「森友学園」との交渉記録と改ざん前の決裁文書、自衛隊のイラク派兵部隊の「日報」隠ぺい問題についての調査結果が国会に提出されました。決裁文書では、昭恵夫人の関与が浮き彫りになり、安倍首相と麻生財務相は、責任を取るべきです。

また、究極の過労死促進制度を含み、「同一労働・同一賃金」が法案のどこにも書かれていない、偽りの「働き方改革」を日本維新の会などの手を借りてすすめるようとしています。私達の願いは、誰もが安心して働き続けられる職場です。そのためには、長時間労働の是正はもちろんのこと、全国一律の最賃制度、公契約、公務員賃金改善、中小企業支援など、すべての働く人々の実質賃金底上げをめざす「社会的な賃金闘争」を力強くすすめていくことが求められています。現在大阪労連は、最低賃金をすみやかに全国一律、時間給1,000円以上、そして1,500円へ引き上げなどを求めて署名を呼びかけています。現在の最低賃金では憲法25条にある文化的な最低限度の生活ができないことは明らかです。組合員のみならず、今こそ憲法が活かされる社会をめざし、たたかいていきましょう。

府議会開会日行動



大阪府議会が開かれる5月25日、府民要求連絡会は府庁前での早朝宣伝、府議会会派要求

カジノより府民の暮らしを

請行動、昼休み集会と府庁包囲パレードを行っていました。昼休み集会では、府民連を代表し大阪労連の菅義人事務局長が「国政も府政も住民を見ていない。政治の転換を求めて行こう。また、森友事件の徹底解剖を求め府議会に100条委員会の設置を求め行こう」と呼びかけました。石川たえ府議員からは、府民の税金を使ってカジノ視察が行われている事が報告されました。つづいて、リレートークでは「カジノより府民の暮らし優先の府政を」「医療、介護も大変な事だ、安心して暮らせる府政に」「企業主導の保育所ではなく、公的保育の充実を」「教育破壊の府立高校潰しにストップを」など府政の転換を求め訴えが続きました。

最賃体験 お金のことばかり考えていた1カ月

西淀川医療労働組合 書記次長 森垣あやか



4月の最賃体験をされた西淀川医療労働組合の森垣あやかさんに思いを語ってもらいました。今回初めて最賃体験を行いました。特にいつもと変わらない生活を送りました。極力お金を使わないように意識していましたが最終的に16,623円オーバーしてしまいました。最賃体験中、何度か飲み会にも参加しました。参加をしないかと思ったら、もししたら最賃の金額内で過ごすことが出来たかもしれません。職場の仲間や友達と食事をする時間は、ストレスの解消になったり、生きていく楽しみにもなると思います。いつもと変わらない生活を送りながらも「今生活を送りながらも「今最賃体験中だからお金はあまり使わないように」「今日は食費しか使っていない」「美容室に行きたいけどお金がかかるな」など、いつもお金のことを考えていた1カ月でした。お金のことを考えながら生活を続けることは、不安やストレスが本当に大きいと思います。お金の心配なく、人間らしく生き、働き続けられる最低賃金の実現を今すぐ確立しなければいけないと思います。

国労大阪会館を

研修・学習会などにご利用ください

JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ

◆身障者用昇降機設置

お申し込みは ☎06(6354)0661

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2



天満でとどけ

先日、「空飛ぶアイヤ」という映画を見る機会がありました。原作は「陸王」などを送り出した池井戸潤氏で、タイヤ脱走事故で尊い命が亡くなり、事故を起こした運送会社の社長がひとつの真実をめざし、大手自動車メーカーの闇を暴く物語。社員を信じたたかう決意をした主人公の社長はヒーローです。しかし、偽造、捏造、隠ぺいのオンパレードの中で真実が明らかにするのは、大企業の中の労働者が「いい会社になりたい」の思いでたまたまから。ここに惹きつけられます。▼主題歌も約3年ぶりとなるサザンオールスターズの新作で、「矛盾を感じつつ、ストレスを抱えながら」も社会で働く、すべての「闘う戦士(もの)たち」へどう生きる?と問いかけています。(K)